

1 年生 道徳学習指導案

日 時：12月9日（金）5校時

場 所：1年生教室

授業者：河村 洋子

1 主題名 しんせつはきもちいい <内容項目：親切・思いやり>

2 資料名 「はしのうえのおおかみ」 <出典：文溪堂>

3 主題構成表

■内容項目 親切・思いやり B-(7) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	■内容項目から見た児童の実態（意識） ・自分のやりたいことに夢中になって周りの人の思いまで考えられないことが多い。自分の思いを押し通し、ささいなことでもいさかいをおこすことも多い。 ・困っている友達を見たら、優しい言葉をかけようという気持ちはもっているが、仲のよい子に限ったり、ほめられたいためだったりして、動機が自分本位である。 ■意識の要因 ・自分のことで精一杯となり、困っている人の立場に立って考えられない。 ・相手を思いやり、親切な行動をすることのよさを十分に味わっていない。	■資料の分析 ・おおかみは、一本橋の上で次々と渡ってくる自分より小さい動物たちに意地悪をして面白がっていた。 ・しかし、自分より強そうな熊から思いがけず優しく橋を渡してもらったことで、親切にされる喜びを感じると同時に自分の行動を反省する。 ・おおかみは去っていく熊を見ながら、熊の優しさに心を打たれると同時に、自分より弱いものにいばるのではなく、優しく接する熊にあこがれを抱く。 ・いじわるするよりも、親切にする方が気持ちいい。そう気付いたおおかみに共感させることで親切はされる方もする方もうれしくなることに付き、友達や身近な人に親切にしようとする心を育み、親切にしようという実践意欲をもたせる。
■価値の分析 ・思いやりとは相手の気持ちや立場を押し量り、自分の思いを相手に向けることである。そして相手の立場に立って考えたことが行為となって表れることが親切である。小さいころから人を大切にし、相手にやさしく接し相手の立場に立って親切にする思いやりの心を育てることが非常に重要である。 ・低学年は、人を思いやって親切にする機会を意図的に設け、経験させることにより、素直にそのよさを感じ取ることができる時期である。 ・そこで、困っている子に気付き親切にできたことが利害や賞賛のためではないことを価値付け、学級で認め合い、親切にしようとする心情や態度を育てていきたい。		

■ねらい

親切にすることにより、相手だけでなく自分もうれしい気持ちになることに気付き、友達や身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる。

■展開の構想

- ・意地悪を楽しむおおかみの気持ちに共感できるようにする。
- ・意地悪をして楽しんでいたおおかみが、思いがけず親切にされ、戸惑いながら、親切にされる喜びを感じる心情の変化をとらえることができるようにする。
- ・親切にすることで、相手も自分も快くなることがわかり、親切の大切さに気付けるようにする。
- ・自分たちの生活を振り返ることで、身の回りの人に親切にしようという実践意欲をもたせる。

■基本発問（ 中心発問）

- うさぎたちに「こら、こら。もどれ、もどれ。」と言ったとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。
「ほら、こうすればいいんだよ。」とくまにだきあげられて一本橋を渡してもらった後、くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんな気持ちになったでしょう。
【深】・どんなことがうれしいの。
 - ・くまさんの何がいいの。
 - ・意地悪をしたときの楽しい気持ちと今のうれしい気持ちはどうちがうの。
- くまのまねをしてうさぎたちをだきあげて橋を渡しているときのおおかみはどんな気持ちだったでしょう。

■「わたしたちの道徳」の活用（ 授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない ）

次の日、P66 P67に親切にできることを書き込む。実践できたら色を塗る。

4 学習指導過程

観	学習活動（基本発問と予想される児童の反応）	指導・援助
気 付 く / 見 つ め る ・ 深 め る / 見 い だ す	1 主人公を確認し、場面の設定を把握する。 おおかみの気持ちを考えていくことを確認する。 2 「はしのうえのおおかみ」の絵話を聞いて、感想を交流する。 ・ どうしておおかみはいじわるしているのかな。 ・ くまにわたしてもらって、おおかみがうれしいと思う気持ちがわかるなあ。 ・ やさしいおおかみになってすごいな。 3 感想をもとに、主人公について話し合う。 ○ うさぎたちに「こら こら。もどれ、もどれ。」と言ったとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。 ・ みんながいうことをきいておもしろいな。 ・ 弱い者をいじめるのは楽しいな。 ・ みんながこわがっている。ぼくはえらいぞ。 ・ 楽しい。もっとやろう。 ・ 「ほら、こうすればいいんだよ。」とくまにだきあげられて一本橋を渡してもらった後、くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんな気持ちになったでしょう。 ・ ありがとう。うれしいな。 ・ あれ、びっくりした。追いつかれないと思ったのに。 ・ 自分とはちがう。 ・ くまさんありがとう。優しいな。 ・ 優しくされるとうれしいな。 ・ くまさんは強いのに優しい。くまさんみたいになりたいな。 【深めの発問】 ・ どんないいことがうれしいの。 ・ くまさんの何がうれしいの。 ・ 意地悪をしたときの楽しい気持ちと今のうれしい気持ちはどうちがうの。 ○ くまのまねをしてうさぎたちをだきあげて橋を渡しているとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。 ・ 喜んでくれてうれしいな。 ・ これからは親切にするよ。 ・ いじわるよりも親切にする方が気持ちがいいな。 ・ 親切はされる方だけでなく、する方も気持ちがいいね。 ・ 相手が喜ぶとうれしい気持ちになるね。 4 自分の生活を振り返り、親切にしたりされたりしてうれしくなったことを話し合う。 ・ 6年生の子が手をつないで登校してくれるのでうれしい。 ・ 友達が牛乳をこぼしたときふいてあげたら、ありがとうと言ってくれてうれしかった。 ・ 一人で運動場に出たとき、「一緒に遊ぼう。」と声をかけてくれてうれしかった。	・ 資料の世界に浸らせ、おおかみの気持ちに共感しやすいように紙芝居や小道具を使った資料提示をする。 ・ おおかみになりきり話そう呼びかける。 （全員が一人で役割演技） ・ それぞれが「こら こら。もどれ、もどれ。」とせりふを言っておおかみになりきって気持ちが考えられるようにする。 ・ おおかみが自分より小さいほかの動物に意地悪をして楽しむ気持ちを十分出させるために、うさぎ達のこわがる様子をペープサートで教師が演じる。 （教師と児童の役割演技を見る） 教師：くま 児童：おおかみ ・ 友達の役割演技を見ることを通して、くまの優しさを感じ取り、意地悪していたおおかみの行動との違いに気付くようにする。 ・ 親切にされるとうれしい気持ちになることに気付かせるように深めの発問を複数用意し、児童の意識の流れに添って発問する。 （ペアで役割演技） ・ ペアで交互におおかみとうさぎになって、おおかみがうさぎを橋の向こう側へ渡してやる役割演技をする。 ・ 親切にされる立場と親切にする立場の両方を演技することで、親切にする側と親切にされる側の両方が気持ちがよいと感じることに気付けるようにする。 ・ 学校・家庭などで親切にしたりされたりしたときの気持ちを振り返らせる。 ・ 学校で親切にした経験がある児童を意図的指名することで例を示す。

5 道徳の時間<本時>と他の教育活動との関連

<日常生活>	<教科・特活>	<児童の意識>	<指導・援助>
帰りの会 ・頑張ったこと・ほめてあげたいことを交流し、友達のよいところを認め合う。	5月（学級活動） ほかほか言葉をつかおう みんなが仲よくできる言葉や使いたくない言葉を話し合い、ほかほか言葉を使えるようにする。 学級遊びを計画しよう 学級遊びについて考えみんなが仲よく活動できるようにする。	・1年生になったのでみんなと仲よくしたい。 ・友達にやさしい言葉をつかおう。 ・困っている人がいたら助けてあげよう。 ・みんなと仲よく遊んだり、活動したりすることは楽しいな。 ・みんなにほめてもらうとうれしいな。	・困っている子に声をかけたり、人の立場に立って行動したりする姿や親切にする意欲が続いている子にその心情を聞き、価値付ける。 ・学級遊びを仕組み、遊びを通して仲間と関わって、親切な行動をしたり、優しい言葉をかけたりすることができるようにする。
日直・係活動 ・自分の仕事をやり遂げたり、係として関わったりしていくことで、友達と関わっていくことの気持ちよさを感じ取れるようにする。	・みんなと過ごすことは楽しいな。やさしい言葉をたくさんつかって仲よくしたいな。		
ふれあい班活動・掃除・分団登下校 ・異学年の子と掃除や遊び登下校を行う中で親切にされる経験をします。	9月（学校行事） 運動会 時間や服装の約束を守って活動する。友達と励まし合い、助け合って取り組む。	・けがをした子を保健室に連れていってあげよう。 ・並ぶ場所を迷っている子に教えてあげよう。 ・ペアで力を合わせよう。	・まわりの子の様子に気付けて、支え合って行動できる子を価値付ける。 ・一生懸命励まし合ったり助け合ったりする姿を認めて、広めていく。
学級遊び ・遊び方を考えて励ましあって仲よく遊ぶ。	・ペアで心をつなげて走ろう。わからない子に教えてあげよう。		
ペア学習 ・友達に自分の考えを話したり、聞いたりするときに、互いに認め合い、よさを見つけることができる。	11月（児童会行事） 北方っ子集会 ルールを守って仲よく活動しよう。	・ほかほか言葉をつかおう。ほかほか行動をしよう。 ・ふれあい班の仲間と力を合わせてゲームをしよう。	・ふれあい班の子と仲よく活動している姿を認めていく。 ・親切にしてくれた上級生に気付く姿を価値付ける。
	・やさしい言葉をかけてもらおうとうれしいな。ふれあい班の人と仲よくしよう。		
道徳の時間（本時） 親切・思いやり B - (7) 資料名「はしのうえのおおかみ」 本時のねらい 親切にすることにより、相手だけでなく自分もうれしい気持ちになることに気付き、友達や身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる。			
給食当番の給食用意 ・ペアの子が当番の子の給食を準備し、親切にする、される心地よさを感じることができるようにする。	2月（生活科） もうすぐ2ねんせい ・1年間の成長に気付き、進級し、新1年生の子を迎えることへの意欲をもつ。	・もうすぐ入学してくる子に優しくしよう。 ・学校のことを教えてあげよう。	・新1年生の子に親切にしようとする意識をもたせ、がんばって教室の飾りを作ったり、メッセージを書いたりする姿を価値付ける。
	・新1年生の子に優しく親切にしよう。入学してきたら学校のことを教えよう。		